

「なまずの会」活動実績

伊東 博*、宮下雄次*

1. はじめに

なまずの会は、地震の前兆をキャッチしようと呼び出し、地震予知につながる「なまずのたより」を捉えるべく、活動を続けてきました。当初、新聞、雑誌、テレビなどに会の発足が取り上げられたことから大反響を呼び、発足1年で会員数は325人にも達しました。その後、入会された方や退会された方などがありますが、1999(平成11)年3月現在、北は北海道から南は九州まで380名が会員として登録されています。なまずの会は、これらの会員の方々の支えによって、多くの成果を得ることができました。観測だより通巻第50号発行にあたり、これまでの経過をまとめ、その概要を報告いたします。

2. 観測会員の推移

なまずの会の会員は、一般会員と観測会員に分かれています。一般会員は、動物や植物、雲などを観察したり、地震について勉強する方々です。観測会員は、井戸水の水位などを毎日測る方々で、会の活動の中心となっています。1999(平成11)年3月現在の会員数380名のうち観測会員は34名です。図1に観測会員の推移を示します。各年の観測会員は、地下水位観測等星取り表(通巻第1～35号)と「なまずの会」地下水位等観測結果(通巻第36～50号)に掲載されている方々です。会の発足から1982(昭和57)年までは増え続け、128名に達しましたが、現在はピーク時の1/4程度になっています。大部分の観測会員は、朝と夜の1日2回、水位等の測定を行っています。会員のなかには、引っ越しや自宅の立て替えなどの事情で観測をやめられたり、中断されている方もおられます。また、娘さんや息子さんなどに観測を引き継ぎ、続けている方もおられます。現在の観測会員の多くは、これらの事情を乗り越え、会の発足当初から十数年にわたり毎日続けられている精鋭の方々です。このように、毎日観測を続けるのは、並大抵のことで出来ることではありません。会員の皆さまには、心から感謝を申し上げたいと思います。

3. 異常検出報告

観測会員による水位測定等から、地震予知につながる「なまずのたより」は、数多く捉えられております。「観測だより」に掲載された、これまでの実績を表1にまとめました。

また図2～図7に、主な水位異常変化の例を示します。

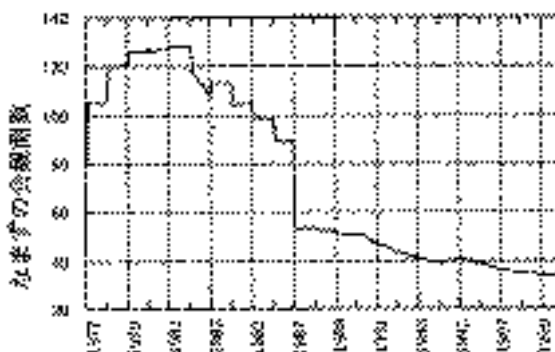


図1 なまずの会観測会員数の推移

* 神奈川県温泉地学研究所 小田原市入生田586 〒250-0031

資料、神奈川県温泉地学研究所観測だより 通巻第50号、15-20、2000.

表1 「なまずの会」による地震前兆現象の検出報告一覧(観測だより掲載分)

報告タイトル	地震発生日時及び規模	巻号	頁
伊豆大島近海地震の前兆水位変化	1978.01.14.2:24.M7	4	2-10.
宮城県沖地震(M=7.4)と水位異常	1978.06.12.17:14.M7.4	5	2-4.
千葉県西部地震の前兆水位変化	1978.8.13	6	1-3.
伊東沖群発地震と水位変化	1978.12.03.22:15.M5.4	7	1-5.
東京、埼玉県境地震の前兆水位変化	1978.12.28.0:06.M4.2	8	1-3.
昭和54年3月～6月の地下水位異常温泉温度異常と地震について		9	2-14.
福島県沖	1979.03.11.05:21.M5.5		
茨城県南西部	1979.03.20.16:25.M3.8		
東京都西部	1979.05.05.16:24.M4.7		
茨城県沖	1979.05.21.23:37.M5.2		
静岡県中部	1979.05.23.15:34.M4.3		
東京埼玉県境	1979.06.22.07:33.M3.8		
昭和54年7月～12月の地下水位観測と地震		10	2-5,
房総半島無南東沖	1979.08.12.16:13.M5.4		
千葉県中部	1979.12.15.12:27.M4.1		
茨城県沖	1979.12.19.20:41.M4.4		
昭和55年1月～3月の地下水位観測と地震		11	4-9,
栃木県中部	1980.01.25.09:51.M3.8		
千葉県中部	1980.02.04.22:10.M4.1		
房総半島南東沖	1980.03.12.12:22.M5.9		
伊豆半島東方沖群発地震の前兆異常について	1980.06.29.16:29.M6.7	12	1-9.
昭和55年3月16日～5月31日の地下水位観測と地震			
房総半島南東沖	1980.05.08.17:03.M5.7	12	10-11.
昭和56年1月～3月の地下水位観測と地震		15	3-5.
茨城県南西部	1981.01.28.12:47.M5.0		
昭和58年1月伊東沖群発地震の前兆異常について	1983.01.14～	22	7-10.
昭和58年2月27日茨城県南部地震(M6.0)の前兆水位異常について	1983.02.27.21:14.M6.0	23	6-9.
昭和58年3月16日、浜名湖北部地震(M5.7)の前兆水位異常について	1983.03.16.02:27.M5.7	23	10-12.
昭和58年1月～3月の地下水位観測と地震		23	13-14.
伊東沖	1983.01.20.00:42.M4.5		
東京都東部	1983.01.27.18:07.M4.6		
伊東沖	1983.02.12.02:54.M3.1		
(前出)茨城県南部	1983.02.27.21:14.M6.0		
(前出)浜名湖北部	1983.03.16.02:27.M5.7		
昭和58年4月～6月の地下水位観測と地震		24	24-25.
日本海中部	1983.05.26. M7.7		
昭和58年8月8日神奈川県西部地震の前兆異常について	1983.08.08.12:48.M6.0	24	40-44.
昭和58年7月～9月の地下水位観測と地震		25	16-17.
(前出)神奈川県境	1983.08.08.12:48.M6.0		
昭和58年10月～12月の地下水位観測と地震		26	12-17.
静岡県西部	1983.11.24.10:23.M5.0		
房総半島南東沖	1983.12.07.17:22.M5.1		
千葉県北部沿岸	1983.12.30.11:30.M5.3		
伊豆大島近海群発	1983.12.30.21:51.M3.5		
昭和59年1月～3月の地下水位観測と地震		27	7-17.
茨城県沖	1984.01.17.20:13.M5.6		
神奈川県境	1984.02.14.01:53.M5.2		
伊豆大島近海	1984.03.25.19:29.		
長野県西部地震の前兆水位異常	1984.09.14.08:48.M6.9	28	7-10.
昭和59年8月～9月伊豆群発地震の前兆異常		28	11-14.
昭和59年11月17日、21日宇佐見温泉のバルス型泉温異常	1984.11.23.06:38.M2.7	29	11-12.
昭和60年1月～3月の地震前兆異常観測		30	6-10.
熱海沖	1985.02.02.02:54.M2.7		
相模湾	1985.02.04.08:50.M3.1		
相模湾沿岸	1985.03.16.08:56.M3.9		
昭和59年9月14日長野県西部地震の前兆水位異常について(前出の追記)		31	15-18.
長野県西部地震の前兆水位観測から一年(前出の追記)		31	19-21.
昭和61年(1986)7月9日小田原直下の有感地震(M=4.2)とその前兆水位異常	1986.07.09.01:18.M4.2	33	7-15.
昭和61年6月1日～12月31日、宇佐見温泉の温度観測と地震		34	17-19.
昭和61年4月～9月の地下水位観測と地震		34	20-24
神奈川県西部(前出)	1986.07.09.01:17.M4.1		
昭和61年10月～昭和62年3月の地下水位観測と地震		35	10-11.
伊豆半島東方沖(前出)	1986.10.13.19:23.M4.6		
宇佐見温泉で観測された1988年伊豆半島東方沖地震の前兆について		37	19-20.
昭和62年10月～昭和63年3月の地下水位観測と地震		37	41-42.
千葉県東方沖	1997.12.17.11:08.M6.7		
昭和63年4月～63年9月の地下水観測と地震		38	51-52
伊豆半島東方沖(前出)	1988.08.01.10:39.M4.8		
宇佐見温泉で観測された1989年伊豆東方沖群発地震と海底噴火の前兆	1989.06.30.～	40	7-14.
1990年8月5日小田原直下地震の水位前兆異常	1990.08.05.16:13.M5.1	41	9-16.
1989年4月～1990年3月の地下水位観測と地震		41	27-28.
伊豆東方沖(前出)	1989.07.05.～		

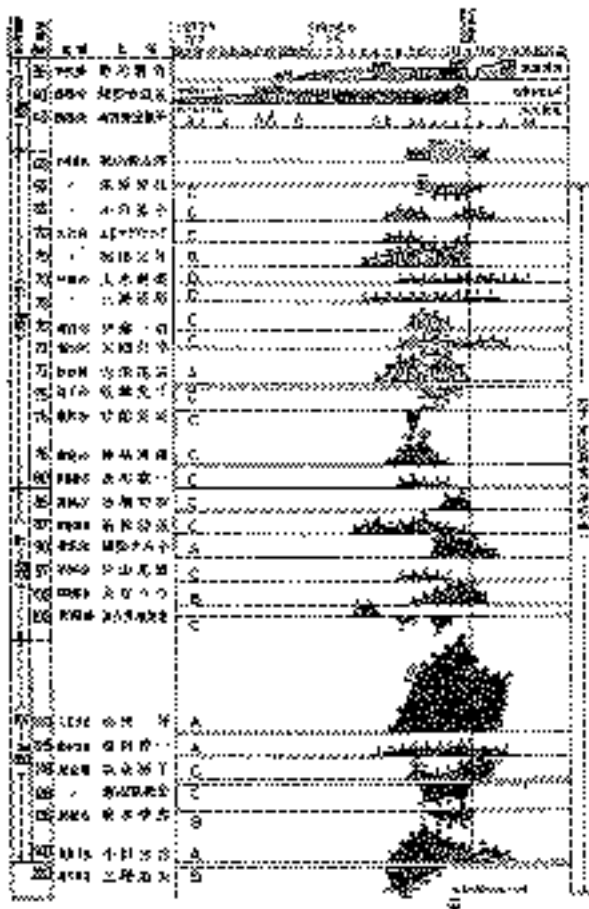


図2 1978年伊豆大島近海地震
に関する異常水位変化
(なまずの会水位観測グループ、1978)

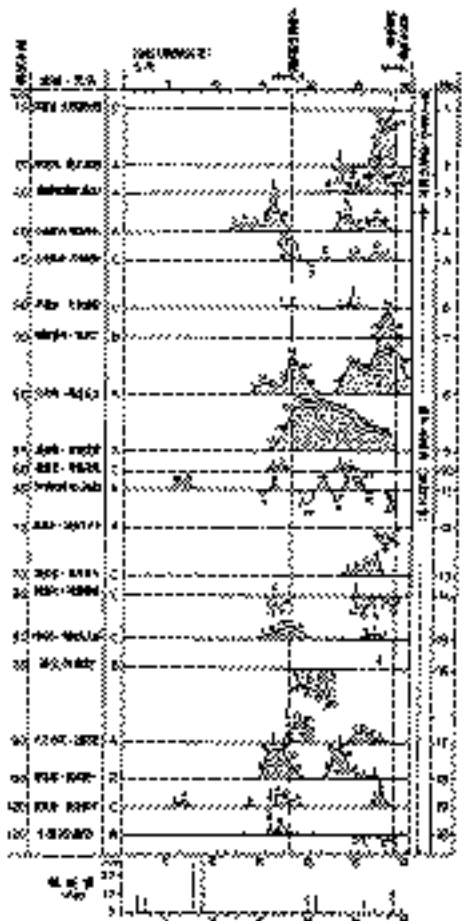


図4 1980年伊豆半島東方沖地震
に関する異常水位変化
(なまずの会水位観測グループ、1980)

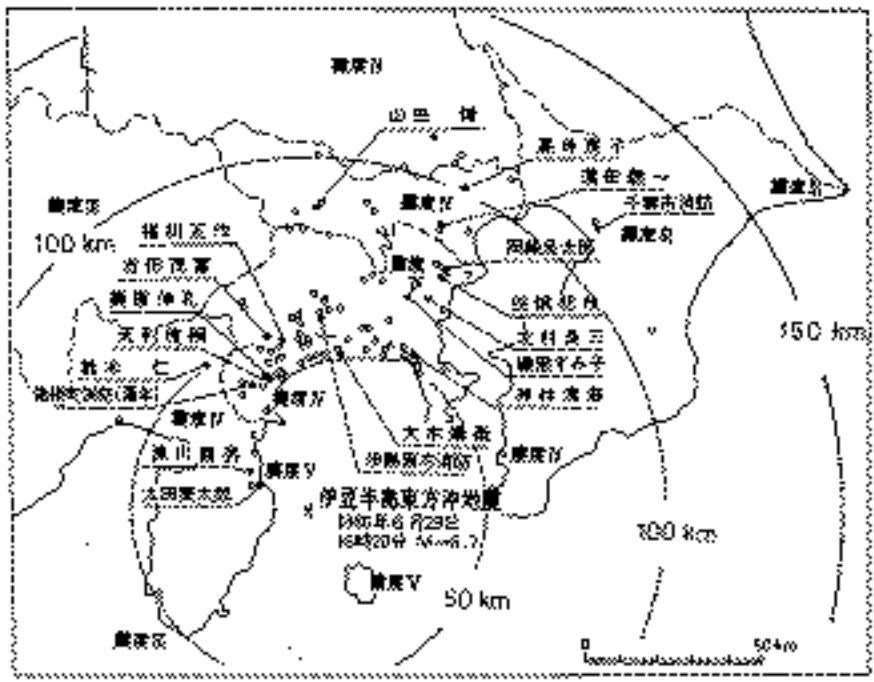


図3 1980年伊豆半島東方沖地震の各地の震度および水位異常が観測された井戸 () 分布
(なまずの会水位観測グループ、1980)

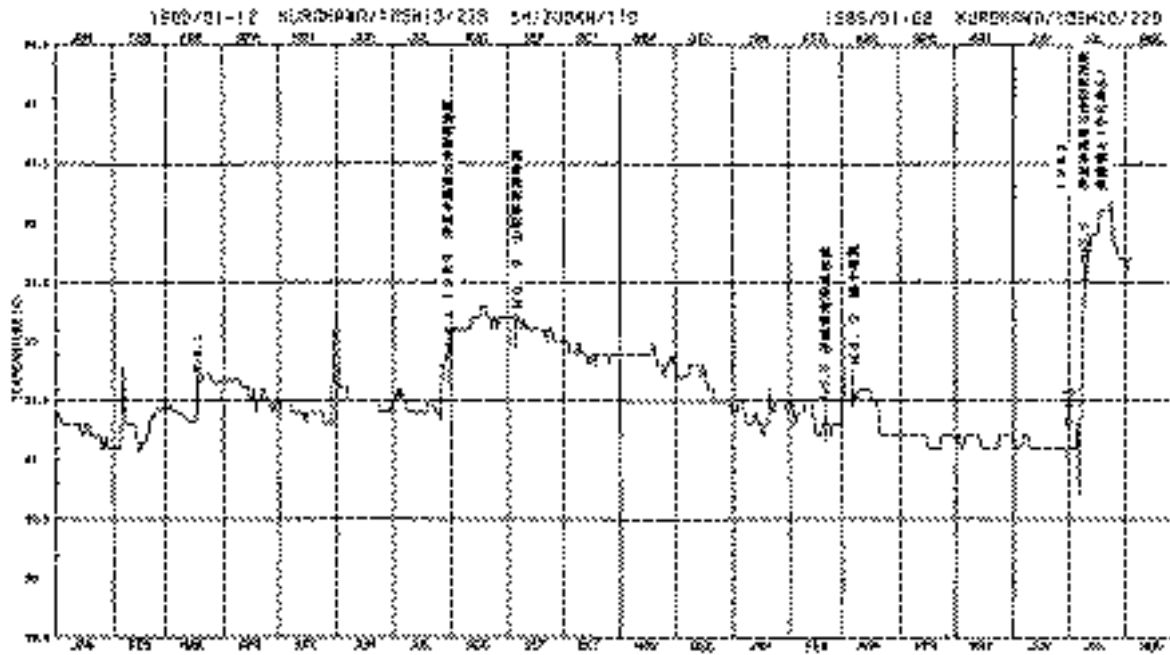


図5 1989年伊豆東方沖群発地震に関する宇佐美第24号泉の温度変化
 (1988年1月~1989年8月) (黒川、1990)

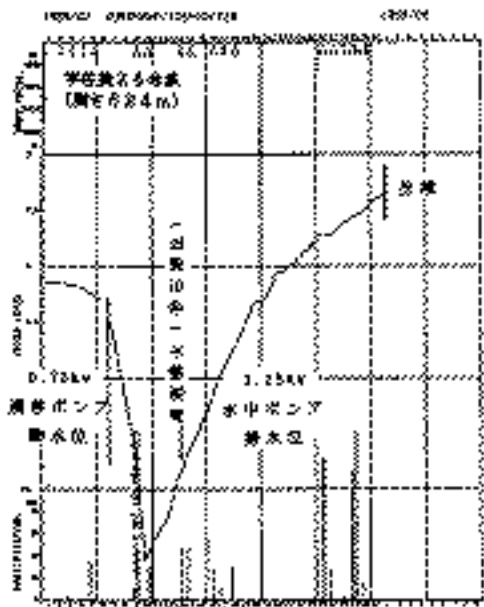


図6 1989年伊豆東方沖群発地震に関する宇佐美24号泉の水位変化
 (黒川、1990)

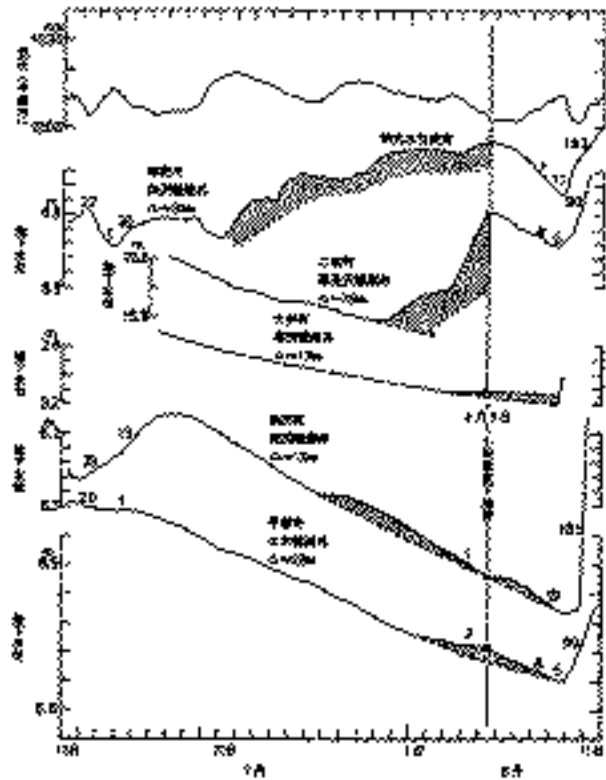


図7 1990年小田原直下地震に関する異常水位変化
 (横山ほか、1991)

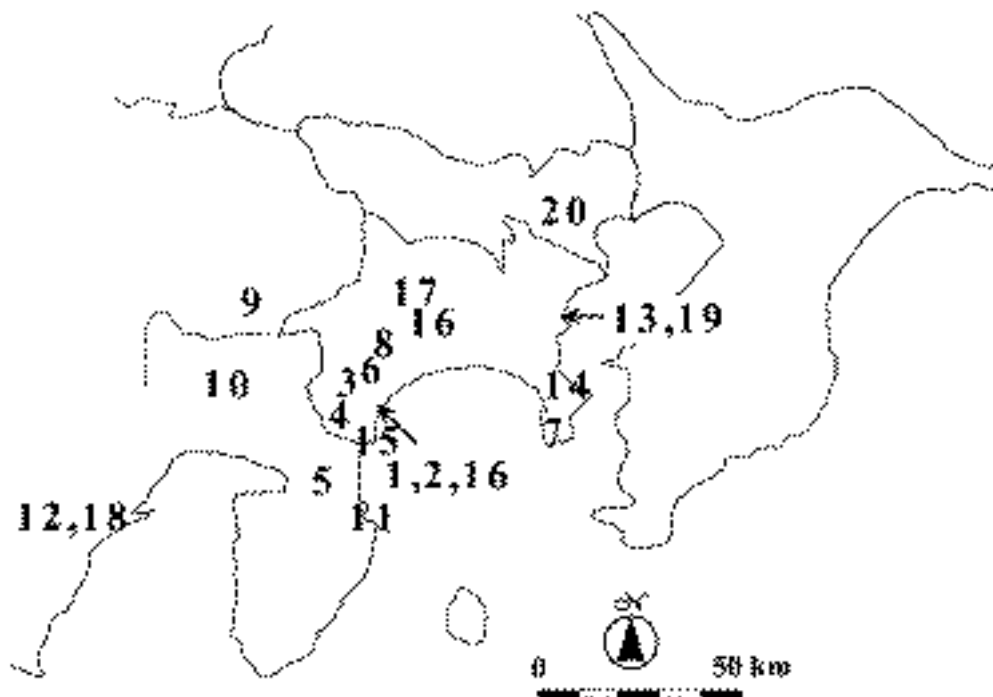


図 8 なまずの会研修会開催場所
 (図中の番号は第 1 回から第 20 回までの研修会のおおよその場所を示す)

4. 「なまずの会」研修会の歩み

なまずの会の第 1 回研修会は、1980(昭和55)年 3 月 26 日(水)に会の発足 1 周年を記念して、温泉地学研究所で行われました。当時の研修会の名称は「なまずとつきあう研修会」でした。研修会では会の発足にご尽力をいただいた故水上武先生(元東大地震研究所長)の記念講演のほか、会員の方々から観測方法の工夫、地震と水位変化など 11 の報告が行われました。研修会の参加者は、関東・東海地域の観測会員 52 名でした(大木、1974)。

その後研修会は、観測会員を対象に地震の知識を深めると共に、会員相互の親睦・交流を図ることを目的に年 1 回開催し、現在に至っております。表 2 及び図 8 には、これまでの研修会の実施状況と位置図をまとめました。第 4 回の研修会からは、野外に出て、地震に関係のある断層や施設などの自然観察を中心に行ってまいりました。

最近では、近隣の近代化された災害対策本部施設の見学が多くなっております。研修会の開催は、毎年楽しみにしていただいております。開催の通知などが遅いと観測データ送付用のはがきや電話などで「今年は、研修会は開かないのですか」「研修会の予定を早めに知らせて欲しいのですが」などの問い合わせがあります。研修会に参加いただいた会員の方々には、これらの研修会が日々の観測等の一助となり、会員相互の親睦と交流を深めていただけたら幸いです。

表2 「なまずの会」研修会実施状況

第1回	1980(昭和55)年3月26日(水) 温泉地学研究所会議室にて総会、認定証交付など
第2回	1981(昭和56)年 温泉地学研究所会議室にて総会、認定証交付など
第3回	1982(昭和57)年6月1日(火) 湯箱根観光会館にて講演、報告、自由討論など
第4回	1983(昭和58)年5月10日(火) 畑宿寄木センター甘酒茶屋、箱根神社、関所跡、遊覧船、大涌谷自然科学館
第5回	1984(昭和59)年5月30日(水) 函南町火雷神社(丹那断層)、昇東市ペコニアガーデン、大室山、黒川観測井
第6回	1985(昭和60)年5月20日(月) 国府津・松田断層、大滝地震観測施設、三保ダム、大雄山最乗寺
第7回	1986(昭和61)年5月30日(金) 三浦半島地質巡検、荒磯海岸、南下浦断層、城ヶ島、油壺地震研観測施設
第8回	1987(昭和62)年5月28日(木) 秦野市震生湖、大山阿夫利神社、平塚市博物館
第9回	1988(昭和63)年6月3日(金) 山中湖富士5合目(スバルライン)、船津胎内樹型、富士ビジターセンター
第10回	1989(平成元)年5月9日(火) 富士新5合目、奇石博物館、白糸の滝
第11回	1990(平成2)年4月26日(木) 伊東市黒川観測井、宇左見留田行蓮寺、川奈海蔵寺、小室山、城ヶ崎海岸
第12回	1991(平成3)年4月26日(金) 静岡県地震防災センター、登呂遺跡
第13回	1992(平成4)年11月5日(木) 横浜市民防災センター、山下公園、鎌倉大仏、建長寺
第14回	1993(平成5)年6月4日(金) 横須賀・三笠公園(軍艦三笠)、横須賀市立自然博物館
第15回	1994(平成6)年6月14日(火) 小田原城、根府川山津波～真鶴・貴船神社 真鶴地下水位観測施設、 中川一政美術館、熱海大湯間欠泉
第16回	1995(平成7)年6月20日(火) 温泉地学研究所、県総合防災センター
第17回	1996(平成8)年7月12日(金) 伊勢原断層、宮ヶ瀬ビジターセンター、宮ヶ瀬ダム、相模原市立博物館
第18回	1997(平成9)年7月18日(金) 静岡県庁災害対策本部室、防災情報研究所、地震防災センター
第19回	1998(平成10)年7月17日(金) 神奈川県庁災害対策本部室、NTT横須賀研究開発センタ、北武断層
第20回	1999(平成11)年10月8日(金) 東京都防災センター、調布市深大寺湧水群、武蔵野台地

参考文献

- なまずの会水位観測グループ(1978) 伊豆大島近海地震の前兆水位変化,
温地研観測だより,4,2-11.
- なまずの会水位観測グループ(1980) 伊豆半島東方沖地震とその前兆水位変化,
温地研観測だより,12,1-9
- 黒川義男(1990) 宇佐美温泉で観測された1989年伊豆東方沖群発地震と海底噴火の前兆,
温地研観測だより,40,7-14
- 横山尚秀、小鷹滋郎、平野富雄(1991) 1990年8月5日小田原直下地震の水位前兆異常,
温地研観測だより,41,9-16.
- 大木靖衛(1974) なまずの会繁盛記,文芸春秋,10月号,372-379.